

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY + 垂水北校			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日		～	2025年10月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日		～	2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	脳科学に基づいたカリキュラムを行っています。子どもたちひとりひとりに合わせた支援計画を作成し子どもたちが子どもの持つ能力、可能性を最大限にひきだせるよう、発達支援しています。未就学児の時期に良い環境を整えることは脳の土台作りにとっても重要です。より多彩なカリキュラムを取り入れ、支援の充実を行います。	子ども達が自ら楽しんで学んでいくこと経験していくことが取組んでいくことが発達をより促します。私たちは子どもたちの「楽しい」を大切にしています。	専門分野のスペシャリスト（指導員）が在籍しています。専門的な視点でより最良な療育支援が提供できるよう職員を増員しています。（作業療法士、幼稚園教諭、中学教師、高校教諭、社会福祉士、看護師、保育士、心理士などが在籍しています。）支援の質の向上にも取り組んでいます。
2	事業所内の活動や支援内容や子どもの様子をカリキュラムノートに毎日記載しています。保護者がよりこどもの様子や活動の様子がわかるよう、写真や動画を提供したりマンスリーレポートの充実させるよう取り組みます	カリキュラムノートに記載している内容だけでなく送迎の際にも毎日の様子を指導員から直接お伝えしています。より子どもの事業所内の様子が伝わるよう、写真を共有したりマンスリーレポートを充実させたり、保護者との情報交換をより充実できるよう取り組んでいます。	保護者会など保護者同士で交流できる機会を設けます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもが多人数に集中してしまうと、十分なスペースが取れないことがある。充実した個別指導、集団指導、就学準備を行うには、過密になりすぎないように工夫が必要。	事業所内の机のスペースをしっかりと確保していますが、集団療育や運動を行う際は机を寄せてスペースを有効に使用しています。	同じ時間帯に子どもが過密になりすぎないように努めています。小さい子どもは午前中、昼寝がない児は昼食後から等過密とならないように工夫しています。
2	母子分離で療育していますので、療育中の事業所内のこどもの様子が保護者に伝わりにくい。	子どもの頑張っている様子、楽しんでいる様子がよくわかるよう、もっと写真や動画を保護者に提供したい。	子どもの様子をもっと伝えられるよう写真や動画を活用します。マンスリーレポートを充実させます。
3			